

保護者のみなさま

大阪市教育委員会

保護者用リーフレットの配付について

初冬の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

保護者の皆様には、平素より本市教育活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、大阪市教育委員会では「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」結果の分析を行い、その内容について公表しています。

教育委員会といたしましては、学力向上には学校・家庭・地域が連携して取り組むことが重要であると考えており、そのためには、学校はもとより、保護者、地域（市民）の方々に本市の子どもたちの現状を理解していただく必要があるとの認識から、教育委員会のホームページに公表内容を掲載し、広く市民の皆さまへの周知を行っております。

大阪市の子どもたちの力を伸ばすために大切なことをまとめた「保護者用リーフレット」も配付いたします。ご家庭や地域での生活の中でご活用・ご実践いただけたら幸いです。

今後とも、子どもたちの学力向上に向け、学校・家庭・地域が連携してお取り組みいただきますよう、お願いいたします。

※ 詳細な内容につきましては大阪市ホームページにおいて、次のとおり掲載しています。

平成31年度（令和元年度）「全国学力・学習状況調査」大阪市の結果

<https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000476483.html>



全国学力・学習状況調査の結果について

(令和元年度版)

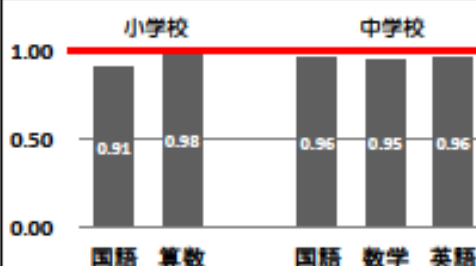
大阪市教育委員会

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査は、平成31年4月18日(木)に、小学校6年、中学校3年の全ての子どもたちを対象として国語、算数・数学、英語の3科目で学力調査が行われるとともに、学習状況について、質問紙調査が行われました。

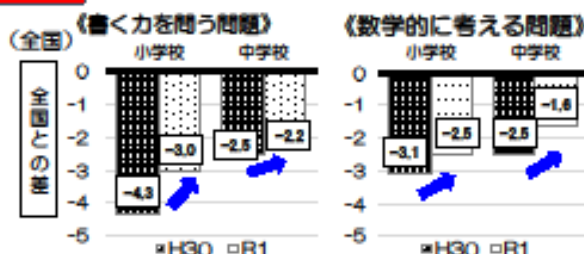
大阪市の子どもたちの結果

学力調査の結果から

全国の平均正答率を1とした大阪市の平均正答率

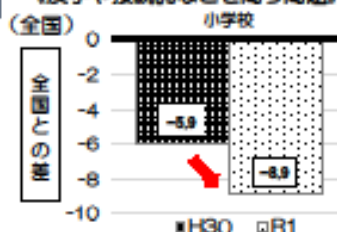


成果



課題

《漢字や接続詞などを問う問題》



(例) 小学校国語

かんしんをもつ

関心をもつ

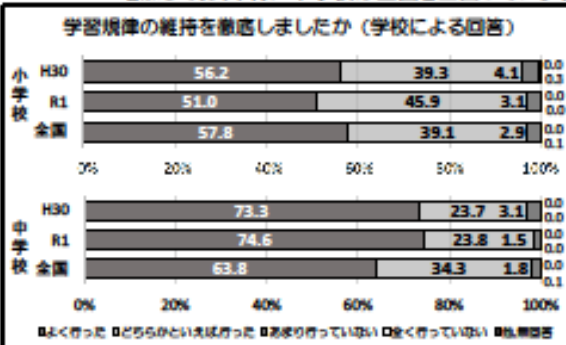
(誤答: 感心 62.1%)

小学校国語において、同音異義語に注意して漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られました。

質問紙調査の結果から

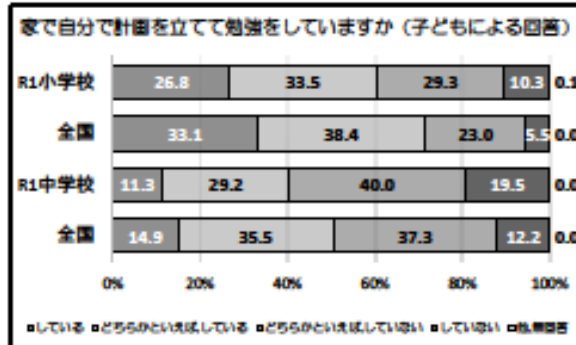
成果

学習規律を徹底した学校が、小中学校ともにやや増加しており、特に中学校は全国を上回っています。



課題

家庭学習習慣の定着は小中学校ともに全国を下回っています。



学校ではこのような取組をしています

- これまでの各種学力調査の結果から、本市の子どもたちの苦手分野だった「書く力」や「数学的に考える力」に重きをおいた「振り返りプリント」を実施するなどの取組を進めた結果、前年度より改善傾向が見られました。
- 授業における学習規律(話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業のチャイムを守るなど)の徹底を行ってきました。
- これからの子どもたちに求められる資質・能力の育成に向け取組を進めていきます。

ご家庭でのご協力もよろしくお願いします！



- 家庭学習の内容や時間について、計画を立てて取り組めるようにお子さまと話し合ってください。
- お子さまが主体的に学習したときは褒め、つまづいたときは励ましてあげてください。
- 日頃からニュースや新聞記事などその日のできごとを話題にして、「どう感じた?」「どう考えた?」などの会話を通して、自分の思いや考えを伝える機会を増やしてあげてください。